

地域と連携した健康づくりカリキュラム

— 地域活性化への貢献(地元型) —

公立大学法人 和歌山県立医科大学 保健看護学部



取組の概要

保健看護学部4年間を通じたcurriculumとして、全ライフステージの地域住民を対象として行う統合教育カリキュラムで、本学部の教育改革理念と学生の学び、そして地域の要望・地域との連携に即したものである。全ライフステージの地域住民を対象としたカリキュラムは、まさに保健・医療・福祉の幅広い視点を持った総合的な健康づくりを推進できる人材育成のための保健看護教育カリキュラムである。学生には、住民との触れ合いから医療人として人間の理解を深めることや信頼関係を築くための協調性・コミュニケーション能力や多様な情報を捕らえ適切な判断する力を習得することが期待でき、同時に、教員の貴重な生涯学習の場となるのみならず、地域住民の安心感、健康増進や疾病予防、さらには、過疎地域では村おこしといった地域の活性化に繋がることが期待できる。すなわち、本取組は教育と地域のニーズ双方が合致した形のものである。

全ライフステージの人間のくらし・生活の理解

健康とは? 疾病とは?

保健 医療 福祉

総合的健康づくりを推進できる人材育成

取組の評価

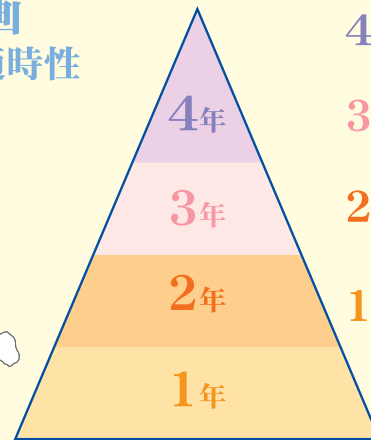
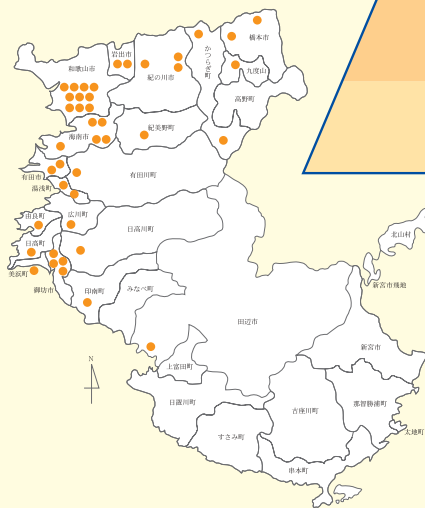
評価の内容：学生による自己評価、レポート、報告会発表
(可能な限り、実習機関の参加)

評価者：担当教員、実習現地指導者の3者評価

全体会議：全学部教員に伝達し評価確認

実習機関とも協議を行い実習内容検討
教務学生委員会、自己点検委員会による検討・評価

取組実施計画 学年進行:適時性



- 1 地域の人々の健康・暮らしの理解
— 早期体験実習
- 2 妊娠期(胎児)から高齢期までの健康管理・生活環境の理解
— 発達保健実習・家庭訪問演習
- 3 妊娠期(胎児)から高齢期までの看護実習
— 母性、小児、成人、高齢期等での実習
- 4 1年次～3年次の統合(医療・保健・福祉)
— 保健看護管理実習・研究

地域との連携
:80カ所以上の実施施設・地域



取組の評価

- 保健・医療・福祉の総合的視点を持った、看護師、保健師の育成
- 生活や暮らしを理解した総合的健康づくりを推進できる人材育成の保健看護教育のモデル
- 実習施設への情報・知識の提供
- 地域住民への安心感、健康増進や疾病予防、さらには過疎地域では村おこしといった地域の活性化